

美しい水を守るために

第六 向陽小学校 四年 能瀬 優月

わたしは、じや口をひねって使った水はど
こを通って、どこに行って、どうやって水を
きれいにしていいるのか、ふしぎに思っていたま
した。そして学校から社会見学で、洛西浄化
センターに行くことになり、どのようなして
水をきれいにしていいるのか楽しみでした。

浄化センターは、たくさんの家や工場が下
きたの下でそこから出されるよごれた水で川や
海をよごさないようにするために、その水を
しよ理するしせつが必要となっていました。た
場所だと知りました。

最初に行った所は、ちん砂池へ行きました。
ちん砂池は、よごれた水の中のゴミや土砂を
とりのぞく場所です。ここではにおいをとる
だっしやうしせつもあり、ここで働いている
人はマスクやゴーグルと意思しました。そして、最
初ちんでん池もちん砂池とにているよごれ
た水をゆるくながして小さなゴミやどろを

すめる場所がよくにたことだけど、2回もゴミやどろなごをとりぞいでいて、すぐくてもまがかけられているんだなと思いました。

次に反対のラタニクへ行きました。反対のラタニクでは、よごれた水にび生物のふた活せいでいをませで、空気をふきこんで、よごれをしずみやすくする場所です。か生物は目に見えないけれど、かつやくしていらまるでスパーヒローのよう下かっこよかったです。

つづいて最終ちんでん池へ行きました。ここでは分かいて下にしずみやすくなつた有機物をしずめて、しよ理した水とよごれたおでいにわけける場所です。ここで分けられるおでいは、おでいしよ理せつびに行き花や木を育てる土などに再利用されて、おでいはすてられるのかと思つたけど花や木を育てるには再利用していてむだがないなと気づきました。

そして消ごくせつびでえんを入れました。

うどくしている場所に向かいました。そこは
ポールのえんそのにおいがして、海のような
少ししおのかがおりました。
水しつ検査をして、しよ理した水が安全に
川や海に流せるかどうかけんさされた後、川
や海に放流されます。

きれいな水にして川や海にながされるのに
こんな時間がかかったり、人がかかぬって
くれて安心安全な水がじゆんかんしているの
がすごくありがたく感じました。

この社会見学を通してかぎりある水を使い
続けるために自分たろにできる事はななだろ
ろと考え下りました。まほは、おふるで使れ
れる水を少しでも少なくできないか、またそ
の水を再利用できないかを考え下りました。
一つ目は、おふるにいっしよに入るか、つ
づけ入ることです。また、よくろくにパッ
トボトルをしずめて水をかさましすること、
必要い上に水を使わないうようにすることが出
きます。そしてのこり湯をせんたくする水

やさうじをする時の水としてかつようすれば
せ、水ができません。

フギにたい所で使われる水をへらせる工夫
はないか考え、おきました。食べ終ったおさ
らついた油分をキッチンパーパト下さきには
きとることをすれば、水をたくさん流してあ
らうことがなくなります。また、ためた水に
つけておくことでかたまつたごぼんつぶをお
ちやすくなり必要以上のせんぱいや水を使わ
なくてすみます。

シフギにトイレで使われる水をへらせる方
法はないのかを考え、おきました。水を流す時
のレバーの大小を使い分けたり、何度か水
を流さない事下使われる水の量をへらすこと
ができると思います。

美しい水を守るために小さな行動のつり重
ねが、未来を守るカギとなる。そして一人一
人が気をつけることによつて、世界中のかん
きょう問題がかい決し、美しく、明るく、未来
がつくれることとつてもふかく思いました。